



アセットマネジメント（AM）手法導入の本格的な支援の推進

～戦略的な資産管理を目指した、アセットマネジメント手法の導入を支援～

1. 背景

老朽化が進む社会資本に対して、国土交通省の社会資本整備審議会等においても計画的な維持管理・更新を実施するよう提言がなされています。既に道路・橋梁分野を先行例として社会資本全体におけるAMの検討・導入がはじまっており、下水道分野も例外ではありません。

そのため、これからは下水道施設に対してもAM手法を導入し、総合的かつ戦略的な管理・運営を行っていくことが求められる時代になってきています。

2. 内容

JSでは、静岡市との共同研究やAM手法導入検討委員会での検討結果を基に、下水道施設へのAM導入手法を確立しており、平成20年度末にAM手法導入マニュアルを作成しました（平成21年度に一部改訂を実施）。今後は本マニュアルを活用しつつ、管路施設・処理場を問わず下水道施設に対するAM手法の導入を積極的に支援していきます。

3. 効果

① LCC（ライフサイクルコスト）の最適化

下水道施設の将来の健全度を予測することで、LCCの最適化を考慮した、適時・適切な措置（再構築、長寿命化など）を講じることができます。

② 予算の平準化

地方公共団体の今後の財政計画等、予算の制約を考慮した中長期計画の策定が可能です。

③ アカウンタビリティの向上

下水道施設の管理・運営に関する取り組みについて、その必要性や妥当性を論理的に説明することが可能となります。

④ サービスレベルの確保

基本戦略（管理目標）に基づいてAM手法を導入することで、施設の健全度を一定の水準以上に保つことが可能となり、安定した下水道サービスを提供していくことができます。

⑤ ベテラン職員のノウハウの一部を代替

最適な施設の再構築・長寿命化対策等の実施時期の判断など、AM手法を用いることでベテラン職員のノウハウの一部を代替することが可能となります。

4. 支援の実績と今後の予定

これまでに、静岡市など26箇所においてAM手法の導入支援を実施しており、これからも積極的な支援を行っていきます。

問い合わせ先

DX 戦略部	システムマネジメント課	TEL 03-6892-2020
東日本支社	設計部 計画設計課	TEL 03-3818-1449
西日本支社	設計部 計画設計課	TEL 06-7661-1228

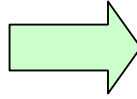


アセットマネジメント ～戦略的な施設管理の時代へ～

これまでとは違う下水道事業の時代へ

これまで

◎新規投資の時代
～0を1にする下水道～



これから

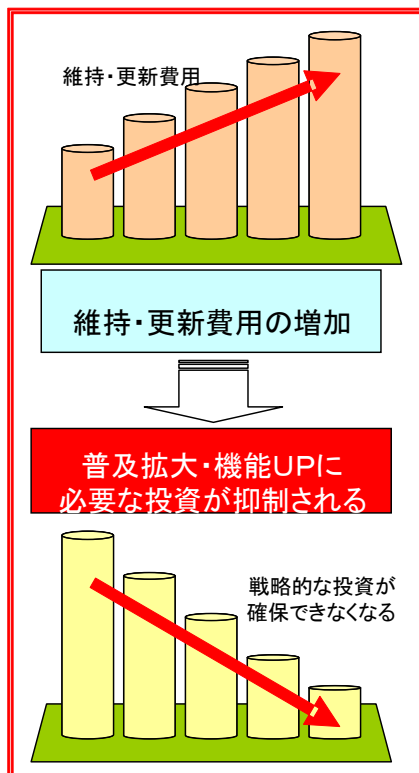
◎既存ストック活用の時代
～1の価値を維持し、高める下水道～

- 米国では **企業会計化** が義務化 ⇒ アセットマネジメント の普及へ
- **わが国でも**、企業会計化の流れは加速の方向
- 平成28年度に「下水道ストックマネジメント計画支援制度」が創設
⇒施設を適正かつ効率・効果的に管理するという観点から、 **施設の状態を客観的に把握し、計画的かつ最適な維持管理を行っていく必要** がある。
(他事業も同様の動き)。
- ISO/TC224 (上下水道サービス)は **次回の改定時にアセットマネジメントに関する規程を追加** する方向。



「アセットマネジメント」が「標準装備化」される時代へ！

懸念される今後の見通し



戦略的投資が可能になる！

アセット
マネジメント

◎更新のための投資額を抑制することで、未普及・解消、合流改善、耐震化、高度処理等々、残される多くの政策課題への適切な投資を確保。

◎アセットマネジメントで、下水道の付加価値を高めることが可能に。

アセットマネジメント導入後

